

## Q4 銀行の収益力(業務純益・コア業務純益)はどうなっていますか

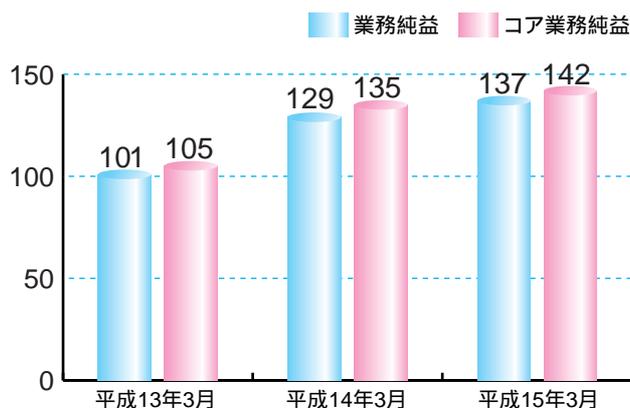
### A 業務純益、コア業務純益ともに過去最高を計上

業務純益は、銀行が預金や貸出金、為替業務などの本業部門でどれだけ利益を上げたかを表す指標で、一般企業でいう営業利益に相当します。平成15年3月期の業務純益は、預金・貸出収支の改善や有価証券利息の増加、経費の圧縮などにより、前期比8億円増加して137億円となりました。

また、業務純益は、臨時的収入に近い国債関係損益や一般貸倒引当金繰入などの信用コストを含むため、利益額が大きく変動することがあります。最近では、こうした一時的変動の影響を除いたコア業務純益<sup>(注)</sup>が実質的な収益力を表す指標として注目されています。平成15年3月期のコア業務純益は、前期比6億円増加し過去最高となる142億円を計上しました。

業務純益・コア業務純益の推移

単位：億円



(注)コア業務純益は、業務純益から一般貸倒引当金繰入、信託勘定償却、国債等債券損益(5勘定戻)を除いて算出します。

## Q5 利益の状況はどうなっていますか

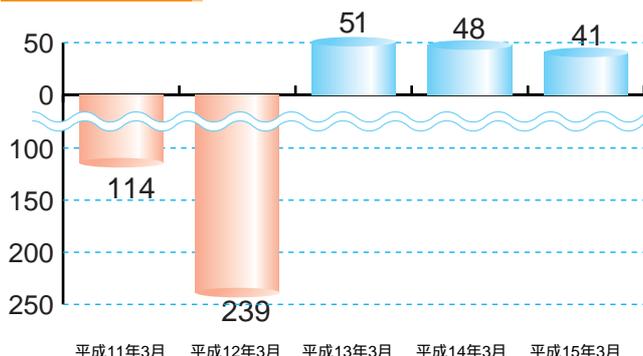
### A 当期利益は41億円と過去3番目の高水準を維持

経常利益は、預金・貸出収支の改善や有価証券利息の増加に加え、不良債権処理が減少したことなどから、前期比36億1百万円増加の45億28百万円となりました。

当期利益は、法人事業税の外形標準課税制度導入の影響などから、前期比7億38百万円減少の41億37百万円となりましたが、利益水準としては、過去3番目の高い水準を維持しております。

当期利益の推移

単位：億円



## Q6 格付けはどうなっていますか

### A 格付けは「A- (シングルAマイナス)」を取得

格付けは、企業が発行する債券などの元金および利息の支払いが、約定通り履行される確実性の度合いを、公正な第三者である格付機関が評価し、その結果を記号で表したものです。

当行は、日本の代表的な格付機関である日本格付研究所の格付け<sup>(注)</sup>を取得しており、20ランク中上位から7番目となる「A- (シングルAマイナス)」の良好な評価を得ています。当行は今後とも、収益力の強化や自己資本比率の向上を図り、格付けの向上に努めてまいります。

格付けの定義

長期債券格付記号

格付け	定義
AAA	債務履行の確実性が最も高い。
AA(+)	債務履行の確実性は非常に高い。
<b>A(+)</b>	<b>債務履行の確実性は高い。</b>
BBB(+)	債務履行の確実性は認められるが、上位等級に比べて、将来、債務履行の確実性が低下する可能性がある。
BB(+)	債務履行に当面問題はないが、将来まで確実であるとは言えない。
B(+)	債務履行の確実性に乏しく、懸念される要素がある。
CCC	現在においても不安な要素があり、債務不履行に陥る危険性がある。
CC	債務不履行に陥る危険性が高い。
C	債務不履行に陥る危険性が極めて高い。
D	債務不履行に陥っている。

(注) 格付けは、「AAA」から「D」までの10段階に分かれています。また、「AA」から「B」までの格付け記号には、同一等級内での相対的位置を示すものとして、(+)もしくは(-)の符号による区分があります。その符号も含めてランク付けした場合には、20ランクとなります。